

技術・家庭科学習指導案

指導者 戸河内町立戸河内中学校 小池紘太郎

1 日時 平成 年 月 日 () 第 校時

2 学年 第2学年 名
(男子 名, 女子 名)

3 場所 コンピュータ教室

4 題材 情報通信ネットワーク
~ Web ページの作成 ~

5 題材について

(1) 題材観

技術・家庭科においては、コンピュータの基礎的・基本的な構成や操作などの実践的・体験的な学習を通して、情報手段の果たしている役割を理解させ、情報を収集、判断、処理し、発信することができるようにするとともに、自ら課題をもって解決する能力と生活に生かす態度を育成することが望まれている。

情報通信社会の進展にともない、インターネットなどに代表される広域ネットワークのインフラストラクチャーの整備が進む現在、コンピュータなどの情報機器を利用した様々な情報手段による新しいコミュニケーション能力を身に付けることは重要な要素になると考えられる。

そこで、本題材では、情報通信ネットワークを通して個人が自由に情報にアクセスし、自分の情報も公開できるなど相互に情報をやり取りする能力の育成をねらいとしている。

(2) 生徒観

学年当初のアンケートによると、全員、小学校

でインターネットの操作方法を中心にコンピュータ学習を行っている。しかし、ほとんどの生徒はコンピュータを使うのは難しいと感じており、コンピュータへの興味・関心は高くないという実態にある。

現在までに、技術・家庭科ではハードウェアとソフトウェア、文書処理ソフトウェア、情報の伝達方法の特徴と利用方法等について学習した。授業では、コンピュータ活用に熱心に取り組むが、やや受動的な場面が見受けられる。

(3) 指導観

指導にあたっては、小集団での学習活動を取り入れる。その中で生徒個々に役割を持たせ、互いに学び合うことのできる授業づくりを行っていきたい。さらに、小集団においても生徒一人一人が主体的に問題を発見しコンピュータを使って学習を進めていくような問題解決的な学習活動を設定していきたい。これらのことより生徒一人ひとりに興味・関心を持たせたい。

また、Web ページの作成において、マルチメディア活用にはあまり深入りしないようにし、文字や写真を中心に扱っていく。その際、素材として用いる情報の扱い方や著作権等について配慮する。

6 題材の目標

情報を収集、判断、処理し、発信することを通して、情報の正しいやり取りができる。

【学習指導要領の項目 B(4)イ】

7 題材の評価規準

ア 生活や技術への 関心・意欲・態度	イ 生活を工夫し 創造する能力	ウ 生活の技能	エ 生活や技術について の知識・理解
進んで情報伝達の問題点について調べ、発表しようとする。 自分が発信したい情報のテーマや内容など、作品の構想について意欲的に検討することができる。	情報伝達の問題点について考え、安全に情報を活用するための改善点を指摘できる。 作品が見る人にとってわかりやすいものとなるように、内容や構造を工夫することができる。	情報伝達の安全性とマナーを考え、作品の構想を立てることができる。 Web ページ作成ソフトの機能を使って、構想どおりの作品を完成させることができる。	著作権等コンピュータを安全に使用するための注意点が理解できる。 Web ページの特徴を理解し、作成ソフトウェアの基本操作について説明できる。

ア 生活や技術への 関心・意欲・態度	イ 生活を工夫し 創造する能力	ウ 生活の技能	エ 生活や技術について の知識・理解
Web ページ作成に関心を持ち,特徴と利用方法を調べようとしている。 作成した Web ページを積極的に評価している。	Web ページ作成ソフトウェアを用いて,作品が見る人にとってわかりやすいものとなるように,内容や構造を工夫することができる。 機密性を守るためにパスワードを工夫することができる。	インターネットを利用して Web ページを発信することができる。	情報発信の特徴や方法について説明できる。

8 題材の指導計画

次	学習内容(時数)	評価					
		関	創	技	知	評価規準	評価方法
1 情報伝達の安全性とマナー	情報伝達の安全性とマナーをについて知る。(1)					ア 進んで情報伝達の問題点について調べ,発表しようとする。 イ 情報伝達の問題点について考え,安全に情報を活用するための改善点を指摘できる。 エ 著作権等コンピュータを安全に使用するための注意点が理解できる。	行動観察 ノート
2 作品の構想	テーマや内容,レイアウトなど,作品の構想を決める。(1)					ア 自分が発信したい情報のテーマや内容など,作品の構想について意欲的に検討することができた。 イ 作品が見る人にとってわかりやすいものとなるように,内容や構造を工夫することができる。 ウ 情報伝達の安全性とマナーを考え,作品の構想を立てることができる。	行動観察 ワークシート(スケッチ)
3 Web ページの作成	自分に必要な資料を収集し,Web ページ作成ソフトウェアを用いて,Web ページを作成する。(5)					ア Web ページ作成に関心を持ち,特徴や利用方法を調べようとしている。 イ Web ページ作成ソフトウェアを用いて,作品が見る人にとってわかりやすいものとなるように,内容や構造を工夫することができる。 ウ Web ページ作成ソフトの機能を使って,構想どおりの作品を完成させることができる。 エ Web ページの特徴を理解し,作成ソフトウェアの基本操作について説明できる。	行動観察 ノート 作品 評価シート 小テスト
4 Web ページの発信	作成した Web ページを発信する。(1) 本時(1/1)					ア 作成した Web ページを積極的に評価している。 イ 機密性を守るためにパスワードを工夫することができる。 ウ インターネットを利用して Web ページを発信することができる。 エ 情報発信の特徴や方法について説明できる。	行動観察 作品 小テスト インターネット

9 本時の展開

(1) 本時の目標

情報発信の特徴や方法を理解し、Web ページを発信することができる。

(2) 観点別評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度

作成した Web ページを積極的に評価している。(ア)

生活を工夫し創造する能力

機密性を守るためにパスワードを工夫することができる。(イ)

(4) 学習の展開

生活の技能

インターネットを利用して Web ページを発信することができる。(ウ)

生活や技術についての知識・理解

情報発信の特徴や方法について説明できる。

(エ)

(3) 準備物

自己評価カード

学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
発信における注意点 作成した Web ページが著作権やプライバシーを侵害していないか、またリンクが正しく表示されるか最終確認を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・以前に学習した情報伝達の安全性とマナーについて振り返らせる。 ・インターネットに情報を発信する意味を考えさせる。 	ウ 製作した Web ページの安全性やマナーを確認することができる。 エ インターネットの利用者の範囲を理解することができる。	行動観察 作品 行動観察
発信の特徴と方法 ユーザ ID やパスワードの重要性を考える。 戸河内中学校ホームページのサーバログインパスワードを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人を特定する唯一の手段が「ユーザ ID」と「パスワード」であることを伝え、他人に知られた場合の危険性を理解させるようにする。その際、実際の事例を取り上げる。 	エ ユーザ ID やパスワードの必要性を説明できる。 イ パスワードについて具体的な注意点を指摘することができる。	小テスト 行動観察
情報の発信 ファイル転送ソフトウェアを用いて作成した Web ページを発信する。 発信した Web ページをインターネットで確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイル転送ソフトウェアの操作方法や転送のしくみについては深入りしないようにする。 	ウ インターネットを利用して Web ページを発信することができる。 ア 発信した Web ページを積極的に評価している。	インターネット 行動観察
まとめ 本時の学習をふりかえり自己評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で自己評価させる。 		